第３期奥多摩町地域福祉活動計画の策定にあたって

日本では、出生率の低下が進み人口が減少傾向となり、少子高齢化が急速に進んでおります。

奥多摩町ではさらに深刻な状況となっており、地域住民からの福祉ニーズは多様化すると考えられ、それに対応する地域福祉の展開が必要となります。

地域福祉活動計画は、住民主体の福祉のまちづくりを実施するための活動目標を示すものとなっており、この度、第３期の地域福祉活動計画を策定することとなりました。

平成17年に策定した第２期の地域福祉活動計画から10年が経過し、新たに、町が平成27年に策定した「第５期長期総合計画」や「地域保健福祉計画」と足並みをそろえ協働する地域福祉活動計画となるよう検討いたしました。

計画策定においては、地域の様々な状況を「みんなで考え、つながり、解決する地域づくり」をめざし「地域参加型のまちづくり」「共に生きるまちづくり」「自立型の福祉」「福祉文化の創造」を基本視点に置き、策定委員会において、議論を重ねてまいりました。

この計画では、「心と心　笑顔と笑顔をつなぐまち　奥多摩」を目指す将来像とし、住民参加型の助け合い、支え合いをコーディネートするための計画書と位置づけ、住民参加型の地域福祉を実現するための具体的な取り組みを例示いたしました。

様々な課題や問題等について、精力的に議論を重ねていただきました委員の皆様、各調査にご協力をいただきました皆様に、この場をおかりしてお礼を申し上げます。

平成28年３月

奥多摩町地域福祉活動計画策定委員会
委員長　原島　榮治